

令和4年度 第2回恵那市総合計画推進市民委員会 会議録

日時:令和5年3月20日(月)午前10時～

場所:恵那共同福祉会館1階 集会室

1. 開会
2. 委員の委嘱
3. 会長あいさつ
4. 副市長あいさつ
5. 【報告】令和4年度恵那市市民意識調査について
6. 【議事】地方創生関係交付金事業の効果検証について
7. 閉会
8. 出席者の数・・・13名中9名

	氏名	選出団体等	備考	出席
1	赤井 恵美	公募		欠席
2	安藤 啓高	恵那市民生委員・児童委員協議会		出席
3	市川 祥子	恵那商工会議所		出席
4	伊藤 孝行	十六銀行恵那支店		出席
5	岩井 慶次	恵那市防災研究会		欠席
6	紀岡 伸征	社会福祉協議会		出席
7	國枝 悟	恵那職業安定所		出席
8	瀨瀬 美由紀	恵那市農業委員会		出席
9	佐藤 亜弥美	公募		出席
10	芝田 幸代	恵南商工会女性部		欠席
11	西尾 修欣	恵那市教育委員会		欠席
12	服部 敦	中部大学	会長	出席
13	平林 道博	地域自治区会長会議	副会長	出席

9. 4名

1. 開会

■事務局（進行） 会議に先立ち資料の確認をする。資料を机上に用意している。ここでお詫び申し上げる。先週委員に資料を送ったが到着がまだだったようで、今日のお昼ごろ到着するかもしれない。机上に4点ある。次第、名簿、資料1、2。

定刻となったので開会する。私は司会の企画課長の和田です。よろしくお願いします。次第の2枚目に名簿がある。欠席が3名。赤井委員、芝田幸代委員、岩井委員、西尾修欣委員の4名が欠席。

本日の会議は恵那市附属機関等の会議の公開に関する要綱に基づき原則公開とし、議事録も公表する。11時45分ごろ終了予定とする。

2. 委員の委嘱

■事務局（進行） 役員の改選などにより2名が交代された。副市長から委嘱書を交付する。
〔 安藤啓高委員、瀬瀬美由紀委員に副市長より委嘱状を授与 〕

■事務局（進行） 安藤委員、瀬瀬委員、よろしくお願いします。

3. 会長あいさつ

■事務局（進行） これより進行を会長に代わる。よろしくお願いします。

■会長 この会は市民の皆様の声を市政に反映させる重要な会議だ。本日も忌憚なく質問、意見を頂きたい。また、会長として円滑な議事の進行に心がけるので協力をお願いします。

4. 副市長あいさつ

■事務局（進行） 副市長よりあいさつ申し上げる。

■副市長 第2回委員会に出席いただきありがとうございます。

コロナの感染者も減ってきて、昨日は明智町で日本大正村クロスカントリーが開催された。平常は2千人ほどの参加者だが、募集時にはコロナ感染者がまだいたということで6割の参加者だった。今日出席の國枝委員は昨日16km走ってくれた。大変なコースだったと思う。4年ぶりの開催で、準備、運営をかなり忘れてしまっていたが安全に終了した。4月から5月には多くのイベントを開催するので皆さんも出席してほしい。

今日は企業立地協定というのが結ばれる。恵那市が今、恵那西工業団地を開発しており、およそ3区画できる。完成が12月。既に進出企業が決まり、今日13時半から立地協定が結ばれる。その会社は千葉から進出されるヘリウス・エレクトロニクスという会社で、溶鉱炉

に入れるセンサーを作る。本社はベルギー。千葉に支社があるのを恵那市に移すということで非常に有り難い。

この企業が千葉の市川から恵那市に来た理由は、施設が老朽化しているということと、市川は浸水地域であり東南海地震を絶対避けるようにとベルギーの本社からの指示があったからとのこと。続いて、ベルギーまでできるだけ早く行けること。あるいは、従業員が千葉からこちらに来るので、今のところ 2027 年のリニアの開業を見据えているということだ。既にリニアは非常にインパクトがある。今後も恵那市はそういう点を生かして企業立地を進めてまいりたい。

5. 【報告】令和4年度恵那市市民意識調査について

■事務局（進行） 次第5、「報告 令和4年度恵那市市民意識調査」について事務局より報告をする。

[事務局から資料に基づき説明]

■事務局（進行） 質問等あるか。

また何か質問があれば直接事務局にお尋ねください。

6. 【議事】地方創生関係交付金事業の効果検証について

■事務局（進行） 次に進める。議事進行は服部会長にお願いする。

■会長 事務局から一括して資料説明をしていただく。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 質問、意見交換に入る。今日の議題は、地方創生の交付金を使っている事業が5つあり、それについて事務局で効果検証をしたがこれでいいかということを議論してほしいということだ。関係各課から事業の説明があった。これについての質問と、検証シートにある「地方創生への効果」、「事業をこのまま継続するのか、発展させるのか」という検証結果についての質問、意見を頂きたい。

まず、5つの事業について、質問、意見があれば。

私から2つ質問したい。

「事業 No.④恵那市アウトドア・リゾート拠点施設整備事業」。効果検証を見ると、資料 No.2-5 の 35 ページ、初年度で1万人の宿泊者を達成した。5年間で5千人の増加を見込んでいたのに対していきなり初年度に1万人というのは、見込みが控えめすぎたということなのか。

あと、「事業 No.⑤誰もが使いやすい交通ネットワーク形成プロジェクト」の事業の「まちなか循環バス」。交付金の支援は車両の導入や初動期の支援だと思うが、運営についても市が独自に支援しているのか。

■事務局（観光交流課） グランピングの宿泊者数について。当初、造ったとしてもPRも初年度は難しいだろうということで人数等を設定していたが、思ったより反響があり、いい結果になった。

■会長 回転率は繁忙期は100%ぐらいなのか。

■事務局（観光交流課） 夏休み期間中は毎日回っている。繁忙期以外の平日は少ないが金、土、日曜日は、ほぼいっぱい状況。

■会長 初年度どころか5年分をもう達成している。

■事務局 まちなか循環バスは、交付金で車両を購入した。ランニングコストというところの運営支援については、まちなか循環バスは恵那市の自主運行バスなので、運賃も「1乗車200円」という定額で、赤字になるが、この部分は運行事業者に赤字補填している。

■会長 では「継続的にやっていく」というのが市の方針ということで。

■事務局 はい。

■会長 どうぞ。

■委員 恵那職業安定所より意見を申し上げる。国の行政機関だ。

「事業 No.②女性がいきいきと暮らせるまち推進事業」。ハローワークは今利用者が減少している。恵那市と雇用対策協定を結んでおり、そういった関係で、外へ出での職業相談をしたいという中で、えなえーるの利用をお願いしたところ、快諾していただいたので、職業相談を始めることができた。主にターゲットとして買い物に来る人ということで、中心は女性を想定した。やはり女性が中心に来た。

あと、えなえーるの相談の周知も市で市民メールやアプリをご無理を言って開催都度メールを発信していただき、非常に、こちらが想定していた以上の方の相談があった。毎回5名ほどの相談があった。月に2回。大変助かっている。事業展開方針の中に、ホームページでSNS、動画等による情報発信を継続していくというのが載っているが、当所に関しては非常にこれが有意義なものであると感じるので、そういったことを行えば、職業相談以外のイベント等についても人数が増えていくのではないかということを感じた。

■会長 効果の発信をすべきだということか。

■委員 今でも十分だと思うが、それが有効だと感じた。

■会長 事業をするに当たり、評価していただいたということで。

それでは次どうぞ。

■委員 意見を申し上げる。資料 No.2-5 の37ページ、「事業 No.⑤誰もが使いやすい交通ネットワーク形成プロジェクト」。効果は②で効果があったということ。この先、事業の継続となっている。数値的にはこういった結果がいい形で出ているのかなと思うが、実際に一住民として意見を言う。交通弱者が実際に使うとき、ログイン、パスワードとか、そこがもっと使いやすければ、もしくは、実際に巡回バスを使う人の周りで生活している人がずっとつ

いているとは限らないので、その方々の手間なくできる形にしていけばより良くなると思う。

■会長 高齢者への配慮をもっとした方がいいという意見だ。

■事務局（交通政策課） 高齢者に、サイトとか、アプリをダウンロードしなくてもインターネットがすぐ見られる形にしている。まちなか循環バスは、1時間に1本というように分かりやすく設定している。もっと知っていただくということでは、お年寄りの集まりに足を運んで説明している。そういうところで利用につなげていただく取組をしている。ここには入れてないが、継続してやっていく。

■委員 市役所の方々がお年寄りのところに案内しなくても、その家族や周りの地域の人が簡単に伝えて促せるような、継続的にこの点については検討していただきたいと思います。

■会長 次どうぞ。

■委員 「事業 No.⑤誰もが使いやすい交通ネットワーク形成プロジェクト」、資料 No.2-5の37ページ。シェアサイクルの整備について。市役所の前に自転車が置いてあることは知っていたが、ステーションがどこにあるのか。増設する計画だということだが。

あと、シェアサイクルがどのぐらい利用されているのか数字的に分かれば教えてほしい。

■事務局（交通政策課） 昨年8月3日からシェアサイクルをスタートし、市内の駅を中心に5カ所のステーションがある。恵那駅、市役所、図書館、行在所、文化センター。自転車は20台で、15分70円で、このステーションのどこでも乗り降りできる。月100回ぐらいの利用者がある。始まった頃はそれぐらいだったが、冬は半分ぐらいになった。4月以降、100以上伸びると見込んでいる。ステーションを増やすことについては、民間事業者と連携して取り組んでおり、バロー大井店、アクロスプラザ、Vドラッグにステーションを3月下旬に設置する。

■会長 次どうぞ。

■委員 質問をさせていただく。「事業 No.③地域商社「ジバスクラム恵那」プロジェクト推進事業」、資料No.2-5の33ページと、「事業 No.④恵那市アウトドア・リゾート拠点施設整備事業」の35ページ。これから、どちらも、「上海の富裕層インバウンド誘客をはじめ、外に発信して、さらに働きかけていく」とあるが、どのような方法で考えているか。

■事務局（観光交流課） インバウンドに今後どう対応していくかだが、台湾向けでこれまで3年間広く誘客の取組を行ってきた。WRCが昨年度から開催され、今年度からまた3年間開催されるが、それに向けて欧米圏から来る人が多いと思っている。そのため、欧米圏の方が「来日する際に検索されるようなサイトに恵那市の情報も入れて、検索された際に恵那市を知っていただき、それを見て来日された際に当市に向かっていただける」ようなインターネットを使った取組等を来年度強化したい。

■委員 では、具体的な手法はいくつか挙がっているのか。

■事務局（観光交流課） 今申し上げた検索サイトに情報を出すことと、海外、アメリカなどに在住しているライターに記事を書いていただき、情報を載せていくなどを検討している。

■会長 ほかに。交付金の事業内容については特に意見はないか。副会長どうぞ。

■副会長 5つの地方創生に関わる事業を効果的に進めたということで大変嬉しく思ってい

る。4つの事業が令和4年度で終わる。その後は、市の単独事業で継続発展させていきたいとあったが、5つを今後どのように市単で進めていくのか。「事業 No.①世界ラリー選手権日本ラウンド、東京オリ・パラを契機としたスポーツクラスター形成事業」なんかは少し形を変えて継続発展させていきたいという話だったが。

■事務局（企画課） まず、「事業 No.②女性が生き生きと暮らせるまち推進事業」のバローの施設運営について。今後は、1つの収入をもう少し増やしながら運営を図っていきたい。現在、大体年間200万円ほどで回している。それが、これまでは国の交付金をいただいていたので半分ぐらい補助が出たが、今後補助がなくなるため、キッチンで講座を開催したりなどの収入源を増やしたい。あと、窓口関係は、営業できない部分があるため、そこでは収入を増やせないが、認知度を高めて、市単独でも市民が満足してくれるような施設として活用して市の単独事業として続けていきたい。

■会長 利用料、参加費とはそういう意味か。

■事務局（企画課） そうだ。

■会長 副会長の質問は、終了する事業3つについての今後の市の展開はというもの。残りの2つの事業についてはどうか。

■事務局（商工観光部） 「事業 No.③地域商社「ジバスクラム恵那」プロジェクト推進事業」について。資料 No.2-4 の最後のスライドに今後取り組む方針として載せた。基本的にはこれまでの3つのミッションを達成するための目標は変わらない。それに対して、それぞれがもう一步踏み込んで新たな展開をしていく。やはり、一事業所だけの収益というより、全体の収益を増やすことから、地場製品の販売促進については、「作ったことは作ったがどう売っていけばいいかわからない」とか、「EC販売にどう載せていけばいいのか」という課題もあるので、こういったところ、作ったものをより多くの内外に売っていけるような仕組みの構築を進めていく。

農産物も同じで、恵那ブランド野菜、恵那産直野菜というブランドができたが、そこに該当しない農産物、たくさん作ったが売るところがないというところを掘り起こして新たな販路を開拓していく。こういったところの支援をしていく。

観光については割愛する。

■事務局（観光交流課） 「事業 No.①世界ラリー選手権日本ラウンド、東京オリ・パラを契機としたスポーツクラスター形成事業」のスポーツ合宿の関係について。今後は、それぞれ補助金で支援していたところは、新たに観光振興補助金という制度を設立し、新しく取り組む事業についてはいろいろな形で支援していきたい。

■会長 多分、自立化できるところは自立化して自己収益を上げていく形で継続性を上げていくことが必要になる。そのための委員からの意見という形で残してほしい。

ほかに。特になければ司会を事務局に返す。

7. 閉会

■事務局 長時間ありがとうございました。令和4年度はこれで終わり、次回の推進市民委員会は、令和5年度の8月ごろになると思われるが、今回報告した令和4年度事業について達成状況が正確に出るのでそれを審議いただく。

それでは、平林副会長から閉会の挨拶をいただく。

■副会長 委員には、今日資料が手元に届いたが、多様な情報について一生懸命真摯に考えていただきありがとうございました。恵那市行政の幹部の皆様には、少しでも実効性のある政策をというところで、5つの政策を中心に取り組んでいただいた。ただ取り組んだだけでなく大変成果が出たということ聞き嬉しく思う。コロナ感染者も100人台になって終息に向かっているが、コロナの後どんな時代が来るかは見通せない。激しく変化する社会であることだけは確かだと思う。そういう中で、止まっているのは後退しているのと同じで、何か手を打ったり施策を打ったりしつつ走り続けることが大事だと思う。第1回の総合計画審議会で、恵那市は国の補助金や県の補助金をとても有効に使うと言われたが、補助金や交付金がないと運営していけていないが、市単でやってくれた事業もあるということで、補助金がなくなっても、地方創生にかかわる取組の中で生かせるものは生かしてさらに発展させていきたい。私たちも市民として曇のない目で恵那市の行政の皆さんを応援していきたい。御苦労さまでした。

■事務局（進行） これで閉会する。

[閉 会]